福祉 ふれあいネットワーク
Vol.275

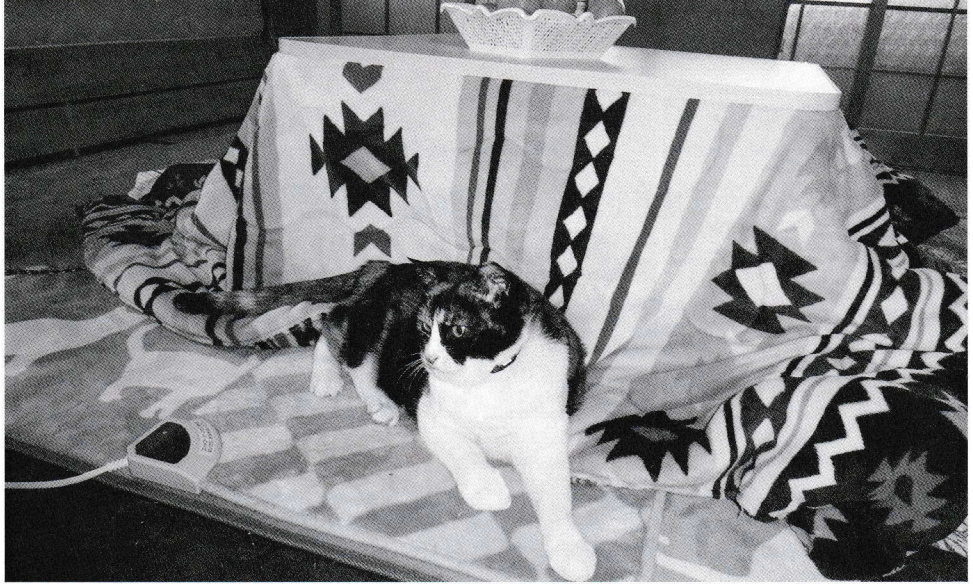
かつらぎ

2021年（令和３年） 2月

特集　社協の権利擁護事業

自分の居場所で
自分らしく生活すること

社会福祉法人 かつらぎ町社会福祉協議会



社協の
権利擁護事業
（相談支援係）

自分の居場所で自分らしく生活すること

かつらぎ町社会福祉協議会では、生活に難しさを抱えている方々に個別に寄り添い、その人にとってその地域が住みやすい『居場所』となるようお手伝いしています。

近頃は、新型コロナウイルスの影響により、人と人とのつながりが薄くなりつつあり、高齢の方や障がいのある方、基礎疾患のある方などが、孤立してしまわないか心配をしています。

このような時代だからこそ、寄り添い支えあう地域づくりについて、今一度見つめ直すことが大切かと思い、今回、社会福祉協議会でお手伝いをさせていただいた利用者さん（Tさん）の事例を通じ『自分の居場所で自分らしく生活すること』をテーマに、社会福祉協議会の取り組みを紹介します。

Tさんとの出会い

Tさんは、知的に障がいのある70代の女性。集合住宅で猫と一緒に一人で暮らしていました。

作業所でトラブルを起こし退所したことをきっかけに、社会福祉協議会が彼女を見守り、生活支援を作業所から引き継ぐことになりました。

しかし、彼女は、人とのコミュニケーションを取ることが難しい状況（環境）であったことから、社会福祉協議会の関わりも素直に受け入れてはくれませんでした。

Tさんの暮らし

○ひとりぼっち（孤立）

彼女は、人とのつながりを求めながらも、障がいの特性から被害妄想的な言動があり、人間関係を築くことに難しさがありました。

また、近所の方も、彼女に関わりにくさを感じていました。

○飼い猫が唯一のよりどころ

飼い猫は、彼女の気持ちを安定させる存在でした。

自分の食事よりも、猫の食事を優先させるなど、猫に愛情を注ぐ優しさがありました。

かつらぎ町社会福祉協議会
相談支援係 **澤本　真希**

○衣食住へのこだわり

彼女は、様々なことにこだわりを持ちながら、日々生活をしていました。

衣 類

- 同じ服を着続ける。
- 冬場でも半袖、素足。

食 事

- コンビニ弁当を大量に買う。
- お金がなければ何も食べない。
- 簡単な料理（玉子焼きなど炒めもの）はするが、偏りがひどく栄養失調となることもあった。

住 環境

- コンビニ弁当の空箱はきれいに洗い、本人のこだわりの場所に山積みにしている。
- 湯が出ない環境のため、一年中水を浴びている。
- 飼い猫が出ていくから…、人にのぞかれるから…との被害妄想から、雨戸を締め切ったままで、夏場でも一切窓を開けない状況。

Tさん自身が苦しんでいた

社会福祉協議会が関わりはじめた頃、自宅へ訪問しても扉を開けてくれず、室内から怒鳴り声が聞こえてくるのみでした。粘り強く訪問を繰り返し、扉を開けてくれるようになり、また、訪問を繰り返すと、今度は室内に招き入れてくれるようになりました。

Tさんとの関わりの中で、「お母ちゃんもうおれへん…」とパニックを起こし泣き崩れる場面もあり、心が痛みました。『寂しい』との思いを強く感じました。

感情をコントロールできないことでTさん自身が苦しみ、孤立感を深めているようでした。

社協としてできること

社会福祉協議会として、まずできることを考えました。

Tさんに

①寄り添うこと

②否定せず話を聴くこと

③味方でいること　です。

この姿勢を崩さず、Tさんに関わることで、少しずつ心を開いてくれました。

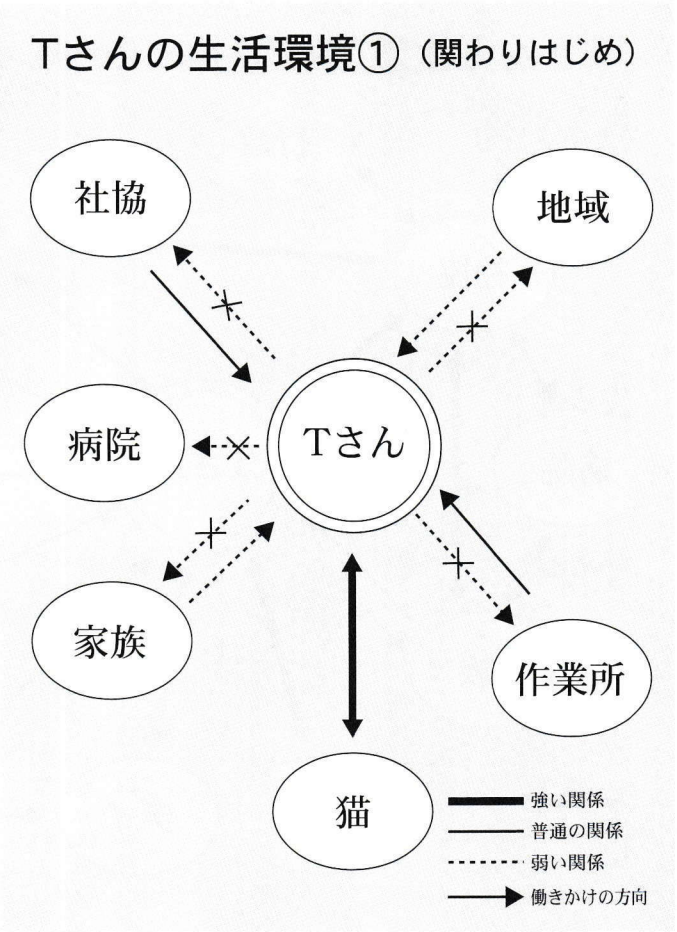
「また来る?」との声をもらい、訪問を待っていてくれるようになりました。

家族の関わり

Tさんには家族がいます。家族はTさんに関わろうとしてくれていました。しかし、家族が訪れても、社会福祉協議会が訪問したとき以上に暴言を吐き、彼女は取り合おうとしませんでした。

ただ、社会福祉協議会だけでは支援に限界があります。日常的な生活はお手伝いできても、医療面（医療同意）での支援には家族の協力が必要です。そこで、家族のつながりを絶やさないように、社会福祉協議会が家族とつながり、必要な時に連携を取り、関係性を維持しました。

家族の関わり方は、必ずしも本人に直接的に関わることだけでなく、間接的に関わることも家族の在り方の一つだと考えています。そのバランスを調整することが社会福祉協議会の役割だと思っています。



寄り添い支えあう地域づくり
地域で見守られながら、居場所を見つける

社会福祉協議会の生活支援だけではTさんを支えることは難しいため、地域の方や関係者の関わりを少しずつ増やし、役割を分担していきました。

地域の方とのつながり 社協が相談できる窓口に

Tさんは、被害妄想的で攻撃的な言動があったため、地域の方も関わりにくさを感じていました。

「気になるが、どう声をかけたらいいのか…」

町内会費の集金や掃除など地域の行事がある時は、地域の方とTさんとの間に社会福祉協議会が関わり、Tさんのことで相談ができる窓口としての役割を担い、Tさんができるだけ地域とつながり続けられるようお手伝いをしました。

まちの電気屋さんも協力

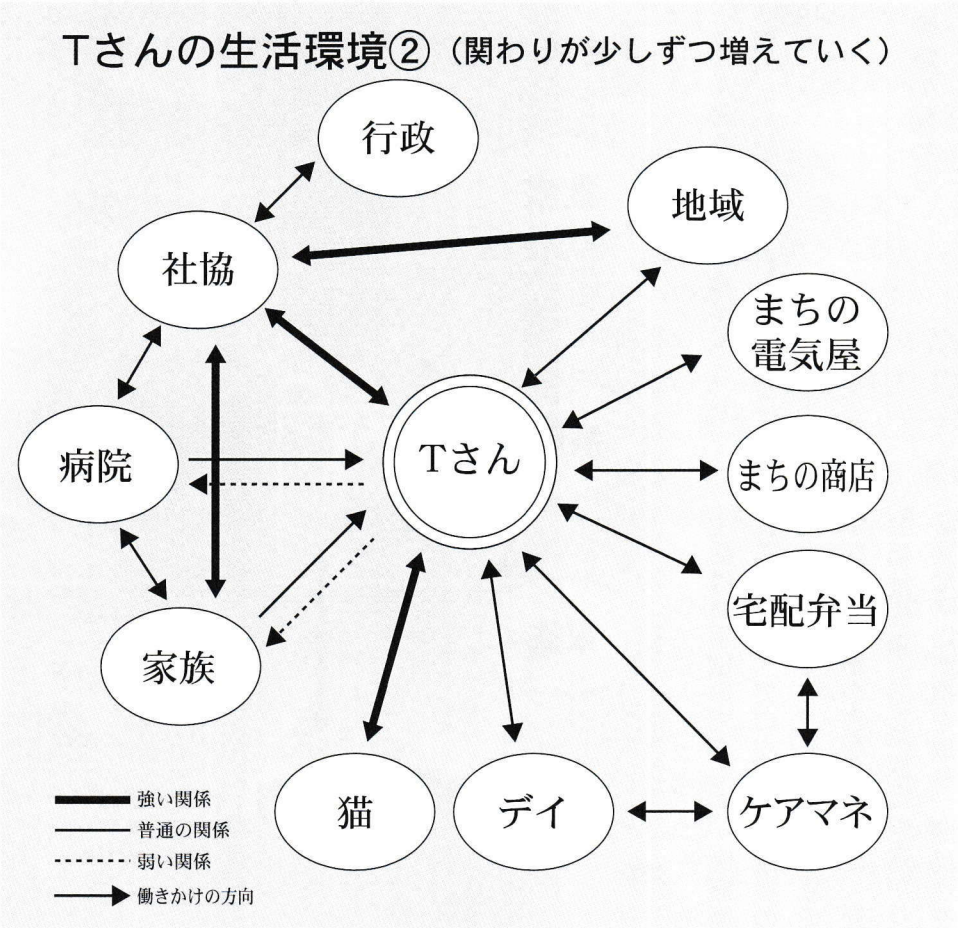
住環境の改善には、まちの電気屋さんに協力をお願いしました。

電気が切れた。冷蔵庫が冷えない。テレビがつかないなど、何かが起こると、Tさんは不安になります。ことがある度に対応していただき、やさしく接してくれ、普段から気に留めていただけるようになりました。

福祉・介護サービスの利用

見守りを含めた宅配弁当（夕食）の利用により、見守りの目を増やすとともに、偏った食生活（栄養面）の改善につなげました。

また、介護サービスの利用により、衣類や住環境の改善にも取り組みました。



Tさんの変化に気づき お互いさまの関係に

必然的に、Tさんに関わる人が増えていくことで、Tさん自身の気持ちに変化が見えてきました。前向きな（明るい）表情となり、閉じこもりがちだった気持ちが開かれ、人と出会うことへの楽しみを表現するようになりました。

Tさんの変化に地域の方たちも気づき、Tさんの難しさを理解し、助け、お互いさまの関係づくりが自然とできるようになっていきました。

こんな変化も…

- 窓から飼い猫が飛び出さないように、窓に網を付けることで、雨戸を開けるようになる。
- Tさんから近所の方にあいさつをするようになり、自然な世間話ができるようになる。
- 曜日の感覚が理解できにくいTさんのために、近所の方がゴミの収集日に声をかけてくれるようになる。
- 近所の方が食べ物のおすそ分けをしてくれた時、Tさんはお礼にジュースを返すようになる。
- 月1回のサロンへのお誘い。
- 選挙の投票に一緒に行く。
- 訪問販売の業者が来た時、近所の方にすぐ相談し、被害を未然に防止できた。
- 急病時に近所の方に助けを呼びに行き救急車を呼んでもらう。

粘り強く、少しずつ関わる人を増やすことで、強い孤独感をもち、投げやりだった気持ちが和らぎ、その変化に地域の方が気づき、受け入れてくれたことで、自分の居場所を見つけることができたのだと思います。

たくさんの人に見送られて旅立つ

実は、Tさんは数年前にお亡くなりになっています。

晩年のTさんは、デイサービスの利用を楽しみ、おしゃれをしてデイサービスに行かれていました。入浴も大好きでした。

宅配弁当も好んで食べて、栄養失調で痩せていた体がまんまるになりました。

デイサービスが休みの日は、コンビニで買い物をして、近所の方とおしゃべりを楽しむことが定番のコースとなっていました。

かわいい笑顔が印象的で、地域のアイドルでした。

最後のお別れの時は、家族はもちろんのこと、たくさんの地域の方々にも見送られ旅立たれました。

私たちの住んでいる地域では、まだまだ「孤独」「孤立」を抱えている人が多くいるのではないかと思います。

社会福祉協議会では、生活に困難を抱えた方を発見し、しっかりと向き合い、『自分の居場所で、自分らしく生活すること』を大切にし、制度だけで区切りをつけるのではなく、その方や周りの環境など、広い視点に目を向け、その方の生活を支える仕組みづくりを検討していきます。

大谷小学校・笠田小学校　手話学習

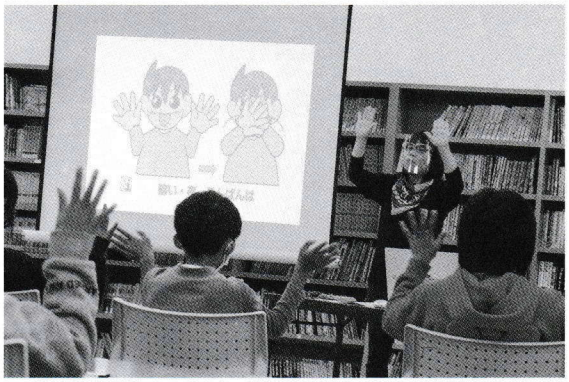
楽しく聴覚障害について理解を深める

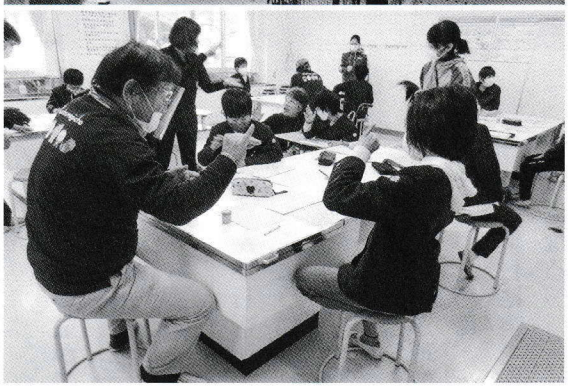
11月13日(金)大谷小学校・12月15日(火)笠田小学校が、それぞれ４年生を対象に手話ボランティアさんの協力を得て、手話学習を行いました。

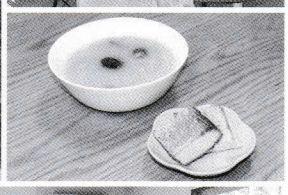
手話を習うだけでなく、耳の聞こえない方(聴覚障害者)の日常生活の話、そして聴導犬の活動の様子を実際に見て学びました。

手話は、手の動きだけでなく、口の動き、表情、動作でも読み取ることが出来ること、筆談という方法でもコミュニケーションが図れることを知った児童は、積極的に質問をし、楽しく聴覚障害についての理解を深める時間となりました。

また、手話ボランティアさんは「緊張しながら手話で自己紹介をしている児童の姿は、ほほ笑ましかった」と話されていました。







つれもてカフェ(四郷カフェ)クリスマス会

コロナ禍の中で工夫して交流 新しい出会い・再会を懐かしむ

12月21日(月)、１年を締めくくる「つれもてカフェ（四郷カフェ）クリスマス会」を開催しました。

感染対策を取りながら人と交流をするにはどうすればいいのか。リスクのなか工夫を重ね開催できたことは、四郷カフェの協力と参加者の高い意識があったからです。一つのテーブルは４名以下で、静かな会食になりました。また、憩楽(いこら)クラブによるフラダンスと中峯民生委員のマジックを楽しみました。最後には、北山牧師からクリスマスの話をしていただき、キリストの誕生を分かち合いました。

この日、はじめて参加する人や、久しぶりに参加する人もいて、新しい出会いと再会を懐かしむ時間になりました。

人に会う、会わないということや、地域の人とどのような距離を取るかは自由です。でも、コロナ禍において話したい時に話す機会も減ってしまっています。そんな時は、人と出会い、話すためのつれもてカフェにお越しください。

善意のご寄付

（12月１日～12月31日　敬称略）

次の方々から社会福祉協議会へ善意の寄付をいただきました。寄付金は、広く地域福祉活動の推進に役立てさせていただきます。

◆遺志として

北浦	健次	亡母	啓尹子	兄井
森中	清治	亡父	秋夫	御所
坪井	利博	亡妻	タチ子	花園梁瀬
宮野	之雄	亡父	秋彦	東渋田
山田	耕司	亡父	精作	中飯降
井上	年久	亡母	艶子	三谷
箕造	奏治	亡母	ミサヨ	丁ノ町
金川	富美	亡父	貢	笠田東
井上	現	亡父	久由	教良寺
前田	伊織	亡母	初子	妙寺
角谷	和俊	亡父	和勇	妙寺
斉藤	万紀子	亡父	内田正美	丁ノ町
村脇	祥元	亡妻	久子	西渋田

ありがとうございました

ありがとう

（12月１日～12月31日　敬称略）

★使用済切手・ハガキ収集に協力いただいた方

中岡　隆子・匿　名 ６件
白ゆりグループ・大谷食品
ボーイスカウト伊都第３団
介護老人福祉施設 やまぼうし
はりま堂鍼灸院・遍照寺檀家一同
日進化学(株)和歌山工場

日本赤十字社活動資金

総額　2,384,302円　（12月31日現在）

ご協力ありがとうございました

かつらぎ町分区では、皆さまからお寄せいただきました活動資金を、日本赤十字社和歌山県支部に送金しました。

この活動資金は、国内外の災害救護活動や防災活動・ボランティアの育成など、いのちと健康を守るための事業に役立てられます。

認知症サポーター養成講座 参加者募集

日　時：2月19日(金) 13時30分～15時
場　所：地域福祉センター　2階
対　象：どなたでも参加できます

参加費 無料

●認知症サポーターとは、認知症に関する正しい知識と理解をもち、地域で認知症の人や家族に対してできる範囲で手助けをする人です。
●講座を修了された方には、認知症サポーターの証として「オレンジリング」をお渡しします。

問い合わせ・申込み　町地域包括支援センター　☎ 0736－22－2322

こまった時は、気軽に相談しよう!!

もの忘れ相談

2月1日(月)・15日(月)

受　付 13時～15時（先着順）
場　所 町地域福祉センター２階
問合せ 町地域包括支援センター
☎ 0736-22-2322

年相応のもの忘れ？認知症？迷ったらご相談を（当日電話での相談可能）

無料法律相談

2月8日(月)・22日(月)

受　付 13時30分～15時30分（先着順）
場　所 町地域福祉センター２階
問合せ 町社会福祉協議会
☎ 0736-22-4311

法的なトラブルに弁護士が相談に応じています(相談時間は16時まで)

ふくし何でも相談

月～金曜（祝日除く）

受　付 ８時30分～17時15分
場　所 町地域福祉センター１階
問合せ 町社会福祉協議会
☎ 0736-22-4311

日常生活上の困りごとに幅広く対応職員が相談に応じています

2月 February 2021 ふくし・ボランティア カレンダー

		社会福祉協議会・福祉団体	地域のボランティア活動
1	月	**もの忘れ相談**（13：00～15：00）	毎週月曜日・水曜日 よりみち 居場所（13：30～15：30大谷地域交流センター）
2	火		手話伊都手のひら（19：30～21：00　妙寺公民館）
3	水		よりみち親の会（19：00～21：00大谷地域交流センター） 手話サザエさん（19：30～21：00笠田ふるさと交流館） ブラインドマラソン伴B（20：00～21：00 かつらぎ公園堤防）
4	木	**つれもてカフェ**（13：30～15：00 cafeころーれ）	
5	金	**友愛電話**（笠田東第一、笠田東第二、佐野、大谷、三谷、東渋田、西渋田、中央部、四邑、志賀、天野、新城） 手話サークル夢（13：30～15：00）	
6	土		
7	日		
8	月	**無料法律相談**（13：30～15：30）	
9	火	朗読山びこ（9：00～12：00） **つれもてカフェ**（13：30～15：00 みまもりショップ杏） 布のおもちゃ（13：30～16：00）	
10	水		ブラインドマラソン伴B（20：00～21：00 かつらぎ公園堤防）
11	木	**建国記念の日**	
12	金	**友愛電話**（丁ノ町、新田、妙寺、中飯降、短野、高田笠田西部、笠田中、真和、四郷第一、四郷第二）	
13	土		
14	日		
15	月	**もの忘れ相談**（13：00～15：00） **つれもてカフェ**（13：30～15：00 四郷カフェ）	
16	火	布のおもちゃ（13：30～16：00）	三ツ葉会（13：30～15：00丁ノ町地域交流センター） 手話伊都手のひら（19：30～21：00　妙寺公民館）
17	水		手話サザエさん（19：30～21：00笠田ふるさと交流館） ブラインドマラソン伴B（20：00～21：00 かつらぎ公園堤防）
18	木	認知症家族の会（13：00～15：00）	
19	金	**認知症サポーター養成講座**（13：30～15：00） 手話サークル夢（13：30～15：00）	
20	土		
21	日		
22	月	**無料法律相談**（13：30～15：30）	
23	火	**天皇誕生日**	
24	水	**つれもてカフェ**（13：30～15：00 憩カフェ樹楽）	ブラインドマラソン伴B（20：00～21：00 かつらぎ公園堤防）
25	木	点字サークルあすなろ（9：00～12：00）	
26	金		
27	土		
28	日		

★実施場所の掲載がない所は、
地域福祉センターです。

★かつらぎ町社会福祉協議会ホームページ
かつらぎ町社協　検索

つれもてカフェ

赤ちゃんから高齢者までどなたでも自由に参加することができます。認知症について気軽に学び、同じ悩みを持つ方とつながり、専門的な相談もできます。（4日・9日・15日・24日）

★新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、中止する場合があります。
（問）地域包括支援センター☎0736-22-2322

社会福祉法人　かつらぎ町社会福祉協議会
和歌山県伊都郡かつらぎ町大字丁ノ町2338番地の2
（地域福祉センター内）
TEL（0736）22－4311　FAX（0736）22－6898

この広報紙は一部共同募金の助成を受けて発行しています